

国際ロータリー第2570地区

# 行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委員：岡田則之、島田修、反町清  
大谷浩一、山本栄治

2004～05 国際ロータリーのテーマ  
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE  
ROTARY

100 Years

第1903回 例 会 (12月9日)

## 来訪者のご紹介

- 卓話講師 菅原伸郎先生
- 行田さくらRC 矢沢大和会員

## 会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆さん今晚は！

先週の年次総会で、次年度の役員と次々年度の会長（会長ノミニー）が決定し、いよいよ次年度に向けて新しい会長の下に組織づくり、方針等が動き出しました。「新しい皮袋には新しい酒を」といわれております。新しい組織のもと、次年度内山会長エレクトの指導力によって素晴らしい活動、運動が展開されると思います。皆様方もぜひ絶大なるご協力をお願いいたします。

さて、今日の報道で北朝鮮から渡された横田めぐみさんの遺骨が、別人のものと判明いたしました。一体彼の国は何を考えて、他人の（しかも分析では二人分の遺骨が混じっていたそうでもあります）遺骨を偽ってまで渡したのであろうか疑問であります。反対に、まだ横田めぐみさんは生きているという証になったのではないかと思います。同じ日本人として、生きていることを信じて行きたいと思っております。

先週の4日の土曜日に教育文化センター「みらい」で、地区第5グループのIT講習会が諸貴ガバナー補佐が主催して行われました。当日は橋田ガバナーもおいでになり、当クラブの飯田会員が講師となり24名の参加者により実施されました。わざわざ橋田ガバナーがおいでになったと言う事は、地区でも

この事業を重点事業にしている事ということになります。当クラブとしては、地区の中でもやや進んでいるクラブかと思えます。来週タイミングよくIT委員会の担当例会が、やはり「みらい」で行われます。沢山の方の出席をお願いいたします。

本日は、元・朝日新聞学芸部「こころ」編集長の菅原伸郎様をお願いいたしての卓話であります。こころ静かにお聞き頂きたいとおもいます。

## 卓 話 菅原伸郎 先生

### 講師紹介（福島伸悦会員）

菅原伸郎（すがわら・のぶお）先生は、1941年生まれで早大政治学科を卒業され、1965年に朝日新聞に入社され論説委員、大阪本社学芸部長、東京本社学芸部「こころ」編集長などを務め2003年3月に退社され、現在は東京経済大学、拓殖大学、立正大学などの講師をなされておられます。著書に「宗教をどう教えるか」（朝日選書）、「教育基本法改正批判」（共書、文理閣）、「戦争と追悼—靖国問題への提言」（編著、八潮社）などがあり、2005年1月上旬に「宗教の教科書12週」（トランスビュー）を発売の予定です。

### 「こころの教育について」



私は去年の春まで新聞記者をしており、現在はいくつかの大学の非常勤講師をしております。

インドに旅行して昨日帰国したのですが、インドではブッダガヤー（お釈迦様が悟りを得た場所）、サルナート（お釈迦様が初めて説法をされた場所）、（次頁へつづく）

霊鷲山（お釈迦様が法華経や浄土経などを説かれた場所）などを巡ってきました。私は元来、仏教に深い関心を持っておりまして、インドの国には魅せられています。

インドという国は一言で表すならば、貧困と熱砂の国でありまして、初めてインドを旅行する人は強いカルチャーショックを受けると思います。旅行者のバスが到着するたびに多くの物乞いが近づいてきますし、また色々な物売りがきて数珠や菩提樹の葉などを売りつけますが、その値段はあってない様な物で、最初買った人と最後に買った人との値段の格差が激しいものです。

インドの国における識字率は60%で、文盲の人が40%存在します。義務教育の就学率は50%くらいです。都市部においては私立学校が存立し優秀な人材が育成されて、IT産業などで活躍されています。他方、地方部でも公立学校があるのですが、貧民学校と揶揄されるごとく設備も悪く、学校に通学できるだけでも幸福であると考えられている状態で、日本の歴史に例えるならば弥生時代のような生活をおくっている有様です。一方でIT産業、他方で弥生式生活、すなわち生活の格差が激しいと言う事ができます。

インドではヒンズー教信者が多数をしめておるのですが、仏教のお陰（多数の仏教聖地巡拝旅行者）で生活しておるような現状です。私も21歳の英語が少し話せる若者に案内をしてもらいブッダガヤーに行ったのです。その若者の普段の仕事は菩提樹の葉を10枚1束にして売っておるとの事で、就職をしたくても仕事が無いのです。ひどい状態です。

その様な中で、トイレ休憩のためドライブインに寄った折り、小学5～6年生の子供が観光客相手に靴磨きをしておりました。1人磨くと10ルピー（27円）が得られ、270ルピー程稼いでおりました。その働く姿は美しく目も輝いており、仕事を持つ喜び、誇りにあふれていました。教育、道徳、宗教なども大切なものでありますが、職があることの方が人間にとって重要な事ではないかと考えさせられてしまいました。



大学に於いて学生に「私の職業観」の作文を書いてもらうのですが、日本に於いても職業につく事ができない状態で悲しくなる想いです。若者に働く場を与えるような状況をつくる事が、大切であると考えます。

現在の社会は矛盾を含んでおります。貧困が犯罪をおこし需要を喚起（欲望をかきたてる）するところに就職率の高さがあり、欲望を掻き立てれば犯罪

を起こすことになる。マハトマ・ガンディーの言葉に「真の意味での文明は需要を増加する事ではない。進んで且つ思い切ってそれを減少することである。」とありますが、考えさせられます。

「心の教育」の重要である事を考える時に、日本においては古くは修身教育がなされ、その内容は教育勅語、天皇中心、軍国主義、徳目優先とするもので、いわば押し付けのしつけであり、なぜと言う問いに答える事がなかった。その反省から昭和30年代になり道徳教育というものが実施されたが、その内容はビデオテープなど映像を見せるのみの実利のないもので、事実上は失敗という結果になった。



社会主義国においては神や仏のない宗教色を排除した倫理教育を実施したが、結果として個人崇拜に結びつくものとなってしまった。

フランスにおいてはルイ王朝時代に権力者と宗教家との政教一体の悪政からの反省によって、政教分離の公民教育を実施し宗教教育はなされていない。

ドイツ、イギリス、米国、イスラム諸国においては宗教教育がなされておるが、権力者との距離をおいている。

道徳教育が事実上失敗に終わり、「心の教育」に行詰っておる日本では思考の多様化から、宗教的な雰囲気失われており、宗教教育は出来ない環境にある。教育基本法において宗教的寛容を教える事が義務付けられておるのにである。日本の学校でも、宗教教育を実施する事が望ましいと思うが無理である。今の教師は、エリートで優秀な人でなければ教師になる事ができず、挫折感や人生に対する考える体験を持つ方が少なく、宗教に対する無知、無関心、軽蔑持っておる方が多いように思われます。

キリスト教を信奉する詩人の八木重吉の「草にすわる」という詩に、「わたしのまちが良かった、わたしのまちが良かった、こうして草にすわれば、それがわかる」とあります。日本では「他人に迷惑をかけるな」と教えますが、インドでは「人は他人に迷惑をかけて生きる存在だから、他人に対しては優しくしなさい」と教えます。この様な心持が理解できればと思います。

道徳教育の行詰まりの現在において、何か出来るかという事を考えなければなりません。1つには教育の充実で、少人数（30人学級）のクラス編成でキメの細かい行届いた教育をする事、2つには騒音の溢れる社会において沈黙の時間を持つという事であり、人間の心の内面を見つめる、即ち内省（心の  
（次頁へつづく）

内に向かって反省)する教育が必要であり、3つには現在、宗教教育ができない状況の中(国語教育も低下に一途にある)で国語教育を充実させ文学作品(例えば、夏目漱石「心」太宰治「人間失格」など)を読む事によって、直接的に宗教教育をしなくとも充分効果が得られると思います。

時間となりましたので終了させていただきます。

佐藤孝太郎会員、小山博会員、永島健雄会員より、靖国問題、中国の反日感情、日本の国旗(日の丸)、国歌(君が代)についてのどの様に考えるかとの質問に対して

**靖国問題**：政教分離の見地から一国の首相が参拝するのは、いかがなものかと思う。

**中国の反日感情**：中国の地においての戦争に対する責任を考えると、反日感情は理解できるような気がします。

**国旗(日の丸)**：日本を表示するものとして容認する事ができます。

**国歌(君が代)**：天皇制が想起されていかがかと思えます。先般の天皇様の御言葉の中に、「強要するものではない」との御発言がありました。また、ドイツ、フランスの国境に、「うらみはしないが決して忘れない」という看板が建ててありました。私もそのように思います。

## 幹事報告 島崎政敏 幹事



①山田会員のお母様が昨日ご逝去されました。

通夜 12月10日午後6時より  
セレモール平安もちだ  
告別式 12月11日午前9時30分より  
同上

②来週の例会は16日(木)夜間例会

6時30分・食事  
7時00分・開会  
会場 みらい  
テーマ コンピュータの学習

③年末年始クラブ事務所は、12月25日より1月4日までクローズです。

## ニコニコ報告

☆行田さくらロータリークラブ 矢沢会員

本日はお世話になります。

☆黒淵会長 菅原先生、本日卓話お世話になります。

☆島崎幹事 菅原先生、少ない講演料にもかかわらず、おいでいただき有難う御座います。

☆永島健雄会員 2005年2月24日(木)に開催されるIMの基本方針が決定しました。テーマは環境問題「水」です。利根と荒川の流域の11クラブの合同例会です。

☆小林会員 菅原先生、卓話有難う御座います。諸貫さん、福島さん、カレンダー有難う御座います。

☆福島会員 菅原先生、本日はご講演いただき有難う御座います。オリジナルカレンダー、受付にありますのでどうぞお使いください。

☆中島会員 小沢会員、一日早いですが誕生日おめでとう御座います。ますますのご活動を……。

☆菅原先生、ご講演有難う御座います。ご苦労様です。

佐藤会員、渡辺会員、稲垣会員、富田会員  
古橋会員、鈴木会員、坂本会員、碓井会員  
古沢勇治会員

☆森島会員 誕生祝有難う御座います。

☆結婚祝有難う御座います。

富田会員、武田会員

☆岡田会員 パーティは欠席ですが、お金は大切にご使用ください。

合計¥51000

## 委員会報告 内山次年度会長



12/2の年次総会において次年度における役員、理事の選任の承認を頂きありがとうございました。一任を頂いて、永島健雄会員にSAAを引き受けて頂いた旨を御報告申し上げます。

12/25に次年度の役員打ち合わせ会議をクラブハウスにて開催し、次年度の行事計画を策定したいと思います。



## 出席報告

正会員数	75名	●	メイクアップ	1名
本日の出席者	34名	●	出席率	46.67%